



## 2020年6月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月12日

上場会社名 株式会社システムサポート 上場取引所 東  
 コード番号 4396 URL https://www.sts-inc.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小清水 良次  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 森田 直幸 TEL 076-265-5151  
 定時株主総会開催予定日 2020年9月29日 配当支払開始予定日 2020年9月30日  
 有価証券報告書提出予定日 2020年9月30日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から決算説明の動画配信を予定）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2020年6月期の連結業績（2019年7月1日～2020年6月30日）

#### （1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期	13,376	13.7	754	42.5	712	41.3	450	30.4
2019年6月期	11,762	18.0	529	31.6	504	36.7	345	57.9

（注）包括利益 2020年6月期 441百万円（10.9%） 2019年6月期 398百万円（81.1%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年6月期	44.82	43.44	20.5	12.6	5.6
2019年6月期	35.19	34.07	27.2	10.6	4.5

（参考）持分法投資損益 2020年6月期 ー百万円 2019年6月期 ー百万円

- （注）1. 当社は、2019年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合、2020年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。
2. 2019年6月期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、当社株式が2018年8月2日に東京証券取引所マザーズへ上場したため、新規上場日から2019年6月期連結会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期	5,947	2,407	40.5	239.45
2019年6月期	5,365	1,977	36.9	196.38

（参考）自己資本 2020年6月期 2,407百万円 2019年6月期 1,977百万円

- （注）当社は、2019年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合、2020年6月1日付普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

#### （3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年6月期	1,059	△308	△316	1,929
2019年6月期	72	△234	614	1,494

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年6月期	ー	0.00	ー	3.00	3.00	15	4.3	1.1
2020年6月期	ー	0.00	ー	10.00	10.00	100	22.3	3.2
2021年6月期(予想)	ー	0.00	ー	10.00	10.00		19.4	

- （注）当社は、2020年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2019年6月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2021年6月期の連結業績予想（2020年7月1日～2021年6月30日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	7,004	6.6	410	1.0	405	8.6	268	12.2	26.78
通期	14,342	7.2	798	5.8	785	10.3	518	15.3	51.66

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年6月期	10,070,000株	2019年6月期	10,070,000株
② 期末自己株式数	2020年6月期	14,023株	2019年6月期	276株
③ 期中平均株式数	2020年6月期	10,041,202株	2019年6月期	9,810,988株

（注）当社は、2019年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合、2020年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、2020年8月12日（水）に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

（決算説明会内容の入手方法）

決算説明会に関しては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場型の説明会に代え、本決算に関する説明動画を後日当社ホームページで配信する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景に、雇用情勢や個人所得環境に改善が見られ、緩やかな回復基調が続いてまいりました。当社グループが属する情報サービス業界におきましては、企業における老朽化したシステムの更改、働き方改革への取り組み等企業における効率化や生産性向上を目的とした投資需要に加え、AIやクラウドサービスの利用領域の多様化等により、市場は拡大傾向となりました。

一方で、米国の保護主義的な通商政策による中国との貿易摩擦による景気後退、中東・東アジア地域における地政学上のリスク等に加え、新型コロナウイルスの感染拡大による世界経済への深刻な影響が拡大しました。

このような状況の中で、当社グループにおきましては、物流業における基幹システム更新案件や、システムの維持運用の効率化に向けたクラウドシステム導入案件等の各種クラウドサービス利用支援分野において新規及び既存顧客の受注拡大に努めた結果、当連結会計年度における売上高は13,376百万円(前年同期比13.7%増)と堅調に推移いたしました。また、営業利益は754百万円(同42.5%増)、経常利益は712百万円(同41.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は450百万円(同30.4%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。なお、セグメントの売上高については、外部顧客への売上高を記載しております。

#### (ソリューション事業)

物流業における基幹システム更新案件や、システムの維持運用の効率化に向けたクラウドシステム導入案件等の各種クラウドサービス利用支援分野の受注拡大等により、当連結会計年度における売上高は11,124百万円(前年同期比14.6%増)、セグメント利益は2,613百万円(同20.9%増)となりました。

#### (アウトソーシング事業)

AI関連サービス等を含めたデータセンター業務等が堅調に推移した結果、当連結会計年度における売上高は1,671百万円(前年同期比9.3%増)、セグメント利益は501百万円(同1.7%増)となりました。

#### (プロダクト事業)

建て役者(建築業向け工事情報管理システム)及びMOS(モバイル受発注システム)等の販売が堅調に推移した結果、当連結会計年度における売上高は555百万円(前年同期比16.0%増)、セグメント利益は305百万円(同11.2%増)となりました。

#### (その他事業)

北米で展開しているメディア関連事業等については、当連結会計年度における売上高は24百万円(前年同期比50.1%減)、セグメント損失は1百万円(前年同期はセグメント利益20百万円)となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末と比べて582百万円増加し、5,947百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比べて407百万円増加し、4,631百万円となりました。これは主に、現金及び預金が505百万円増加し、仕掛品が97百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて174百万円増加し、1,316百万円となりました。これは主に、繰延税金資産が51百万円、敷金が49百万円、建物及び構築物(純額)が41百万円増加したこと等によるものであります。

#### (負債)

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末と比べて152百万円増加し、3,540百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比べて184百万円増加し、2,967百万円となりました。これは主に、「その他」に含まれる未払消費税等が144百万円、未払費用が113百万円増加し、短期借入金が50百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて31百万円減少し、572百万円となりました。これは主に、長期借入金71百万円減少し、役員退職慰労引当金が17百万円、退職給付に係る負債が15百万円増加したこと等によるものであります。

#### (純資産)

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末と比べて430百万円増加し、2,407百万円となりました。これは主に利益剰余金が434百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ434百万円増加し、当連結会計年度末は1,929百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は1,059百万円(前年同期比1355.3%増)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益657百万円、減価償却費167百万円、未払消費税等の増加額144百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は308百万円(同31.8%減)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出118百万円、定期預金の預入による支出110百万円、敷金及び保証金の差入による支出56百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は316百万円(同151.4%減)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出138百万円、自己株式の取得による支出136百万円等によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後につきましては、新型コロナウイルスの世界規模での感染拡大に伴う各産業における経済活動の滞り、金融市場の混乱などにより、当面の経済見通しは厳しいものと想定しております。

企業を取り巻く事業環境の急激な悪化により、短期的にはIT投資への抑制は避けられない状況と判断しておりますが、企業における競争力と成長力の強化に向けたデジタル革命や業務効率化などへの取り組みは継続され、中長期的にはIT投資は拡大するものと考えております。

その中でも特に、企業におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)推進のための基盤となるクラウド関連サービスや、ビッグデータ、AI等につきましては底堅い需要があると考えており、当社グループにおいてもこれらを注力領域として、ビジネス基盤の強化を継続的に行ってまいります。

なお、新型コロナウイルス感染拡大による当社グループの事業への影響は、以下の仮定に基づき、2021年6月期の業績予想に織り込んでおります。

- ・顧客業績等の状況次第では、IT投資予算の縮小やプロジェクトの延期等の発生による当社グループの業績への影響は見込まれるものの、当社グループは特定顧客への依存割合は低く、かつ、顧客の業種も幅広いため、当該影響は軽微である。
- ・緊急事態宣言が発令されても、勤務については在宅や時差等を、商談・会議はオンライン会議を活用し事業の継続は可能である。

上記をふまえ、次期業績の見通しにつきましては、売上高14,342百万円(前年同期比7.2%増)、営業利益798百万円(同5.8%増)、経常利益785百万円(同10.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益518百万円(同15.3%増)を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくため、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当連結会計年度 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,881,875	2,387,258
受取手形及び売掛金	1,893,293	1,833,608
商品及び製品	48,880	41,257
仕掛品	254,965	157,685
貯蔵品	1,884	1,753
その他	143,252	210,353
貸倒引当金	△405	△383
流動資産合計	4,223,746	4,631,532
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	215,590	258,404
減価償却累計額	△119,117	△120,303
建物及び構築物(純額)	96,472	138,100
車両運搬具	5,766	5,936
減価償却累計額	△4,622	△4,342
車両運搬具(純額)	1,143	1,593
工具、器具及び備品	159,897	207,167
減価償却累計額	△119,389	△132,773
工具、器具及び備品(純額)	40,507	74,394
土地	67,960	31,400
リース資産	159,507	101,481
減価償却累計額	△108,448	△50,262
リース資産(純額)	51,058	51,218
有形固定資産合計	257,143	296,707
無形固定資産		
ソフトウェア	264,983	200,446
のれん	11,882	7,808
リース資産	11,824	8,836
その他	2,253	2,253
無形固定資産合計	290,944	219,344
投資その他の資産		
敷金	268,423	318,404
繰延税金資産	235,084	286,408
その他	90,094	195,552
投資その他の資産合計	593,602	800,365
固定資産合計	1,141,690	1,316,417
資産合計	5,365,436	5,947,950

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当連結会計年度 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	369,987	366,644
短期借入金	730,000	680,000
1年内返済予定の長期借入金	134,785	127,250
リース債務	31,170	23,138
未払金	243,363	217,631
未払費用	713,081	826,887
未払法人税等	163,704	181,972
賞与引当金	7,625	7,365
受注損失引当金	2,849	5,425
品質保証引当金	14,737	9,433
その他	372,536	522,163
流動負債合計	2,783,841	2,967,910
固定負債		
長期借入金	280,428	208,676
リース債務	36,381	42,492
役員退職慰労引当金	171,169	188,841
退職給付に係る負債	111,696	127,237
その他	4,454	4,919
固定負債合計	604,129	572,167
負債合計	3,387,970	3,540,078
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	717,085	717,085
資本剰余金	521,535	543,676
利益剰余金	736,742	1,171,734
自己株式	△238	△18,655
株主資本合計	1,975,124	2,413,841
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△4,154	△4,635
退職給付に係る調整累計額	6,495	△1,332
その他の包括利益累計額合計	2,341	△5,968
純資産合計	1,977,465	2,407,872
負債純資産合計	5,365,436	5,947,950

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
売上高	11,762,097	13,376,016
売上原価	8,836,507	9,983,834
売上総利益	2,925,590	3,392,182
販売費及び一般管理費	2,395,768	2,637,376
営業利益	529,822	754,805
営業外収益		
受取利息	71	58
受取手数料	1,421	890
助成金収入	4,364	642
保険解約返戻金	5,880	—
保険配当金	1,360	1,171
その他	936	427
営業外収益合計	14,033	3,191
営業外費用		
支払利息	20,377	18,886
為替差損	7,214	9,136
株式公開費用	12,047	—
上場関連費用	—	17,257
その他	99	330
営業外費用合計	39,740	45,611
経常利益	504,115	712,385
特別利益		
固定資産売却益	—	45
特別利益合計	—	45
特別損失		
固定資産除却損	—	18,044
減損損失	—	36,560
投資有価証券評価損	2,771	—
投資有価証券売却損	—	116
特別損失合計	2,771	54,720
税金等調整前当期純利益	501,344	657,710
法人税、住民税及び事業税	210,454	255,303
法人税等調整額	△54,394	△47,689
法人税等合計	156,060	207,614
当期純利益	345,284	450,096
親会社株主に帰属する当期純利益	345,284	450,096



(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
当期純利益	345,284	450,096
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,859	—
為替換算調整勘定	△584	△481
退職給付に係る調整額	51,712	△7,827
その他の包括利益合計	52,987	△8,309
包括利益	398,271	441,786
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	398,271	441,786

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	203,897	8,347	397,098	—	609,343
当期変動額					
新株の発行	513,187	513,187			1,026,375
剰余金の配当			△5,640		△5,640
親会社株主に帰属する 当期純利益			345,284		345,284
自己株式の取得				△238	△238
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	513,187	513,187	339,644	△238	1,365,780
当期末残高	717,085	521,535	736,742	△238	1,975,124

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	△1,859	△3,569	△45,217	△50,646	558,697
当期変動額					
新株の発行					1,026,375
剰余金の配当					△5,640
親会社株主に帰属する 当期純利益					345,284
自己株式の取得					△238
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	1,859	△584	51,712	52,987	52,987
当期変動額合計	1,859	△584	51,712	52,987	1,418,768
当期末残高	—	△4,154	6,495	2,341	1,977,465

当連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	717,085	521,535	736,742	△238	1,975,124
当期変動額					
新株の発行					—
剰余金の配当			△15,104		△15,104
親会社株主に帰属する 当期純利益			450,096		450,096
自己株式の取得				△136,858	△136,858
自己株式の処分		22,141		118,442	140,584
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	22,141	434,991	△18,416	438,716
当期末残高	717,085	543,676	1,171,734	△18,655	2,413,841

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	△4,154	6,495	2,341	1,977,465
当期変動額				
新株の発行				—
剰余金の配当				△15,104
親会社株主に帰属する 当期純利益				450,096
自己株式の取得				△136,858
自己株式の処分				140,584
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△481	△7,827	△8,309	△8,309
当期変動額合計	△481	△7,827	△8,309	430,406
当期末残高	△4,635	△1,332	△5,968	2,407,872

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	501,344	657,710
減価償却費	174,485	167,177
のれん償却額	4,074	4,074
株式報酬費用	—	5,872
貸倒引当金の増減額(△は減少)	45	△21
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	16,425	17,672
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	17,905	4,078
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,055	△260
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△8,933	2,575
品質保証引当金の増減額(△は減少)	△2,890	△5,304
受取利息及び受取配当金	△191	△66
支払利息	20,377	18,886
投資有価証券売却損益(△は益)	—	116
投資有価証券評価損益(△は益)	2,771	—
固定資産売却損益(△は益)	—	△45
固定資産除却損	—	18,044
減損損失	—	36,560
売上債権の増減額(△は増加)	△544,760	59,679
たな卸資産の増減額(△は増加)	△103,812	105,034
仕入債務の増減額(△は減少)	△52,409	△3,322
未払費用の増減額(△は減少)	192,432	114,138
未払金の増減額(△は減少)	42,022	△28,471
未払消費税等の増減額(△は減少)	20,828	144,966
その他	13,340	△3,320
小計	294,110	1,315,772
利息及び配当金の受取額	191	66
利息の支払額	△20,493	△19,012
法人税等の支払額	△200,974	△236,841
営業活動によるキャッシュ・フロー	72,834	1,059,985
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△206,637	△110,912
定期預金の払戻による収入	201,218	33,800
保険積立金の積立による支出	△11,197	△11,251
有形固定資産の取得による支出	△63,485	△118,318
有形固定資産の売却による収入	—	45
無形固定資産の取得による支出	△110,712	△47,713
敷金及び保証金の差入による支出	△48,840	△56,857
敷金及び保証金の回収による収入	14,087	19
資産除去債務の履行による支出	△8,452	—
投資有価証券の売却による収入	—	2,762
投資活動によるキャッシュ・フロー	△234,018	△308,427
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△260,000	△50,000
長期借入れによる収入	130,000	58,867
長期借入金の返済による支出	△224,129	△138,121
リース債務の返済による支出	△51,804	△34,959
自己株式の取得による支出	△238	△136,858
配当金の支払額	△5,640	△15,031
株式の発行による収入	1,026,375	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	614,562	△316,102
現金及び現金同等物に係る換算差額	△859	△784
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	452,519	434,670
現金及び現金同等物の期首残高	1,042,201	1,494,721
現金及び現金同等物の期末残高	1,494,721	1,929,392

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは、主たるサービスやソリューション及び顧客やマーケットを総合的に勘案してセグメントを区分し、「ソリューション事業」、「アウトソーシング事業」、「プロダクト事業」の3つを報告セグメントとしております。

3つの報告セグメントの事業内容は以下のとおりであります。

報告セグメント	事業内容
ソリューション事業	システムに関するコンサルティング・設計・開発およびデータベースやネットワーク等のインフラ構築、並びにクラウドサービスの利用・導入支援サービス
アウトソーシング事業	プライベートクラウド等のデータセンターサービスやソリューション事業において開発に携わったシステムに関するユーザー企業への教育、ヘルプデスクの運用保守、データ分析・入力サービス
プロダクト事業	当社グループによる製品(ソフトウェア)の開発及び販売、ユーザー企業の用途に応じたカスタマイズ開発サービス

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、売上総利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	ソリューシ ョン	アウトソ ーシング	プロダクト	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	9,705,743	1,529,178	478,576	11,713,499	48,598	11,762,097	—	11,762,097
セグメント間の内部 売上高又は振替高	844	49,050	5,866	55,761	22,173	77,934	△77,934	—
計	9,706,588	1,578,229	484,443	11,769,260	70,772	11,840,032	△77,934	11,762,097
セグメント利益	2,162,302	493,398	274,372	2,930,073	20,915	2,950,988	△25,398	2,925,590

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外情報提供サービス、海外メディア事業、人材紹介事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去の額であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の売上総利益と調整を行っております。

4. アウトソーシング事業に係るのれん(11,882千円)を除き、資産・負債は、事業セグメントに配分していないため、記載していません。

当連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	ソリューション	アウトソーシング	プロダクト	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	11,124,728	1,671,926	555,092	13,351,747	24,269	13,376,016	—	13,376,016
セグメント間の内部 売上高又は振替高	133	51,133	23,575	74,841	23,394	98,236	△98,236	—
計	11,124,861	1,723,060	578,667	13,426,589	47,663	13,474,253	△98,236	13,376,016
セグメント利益又は損 失(△)	2,613,319	501,999	305,177	3,420,496	△1,870	3,418,625	△26,443	3,392,182

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外情報提供サービス、海外メディア事業、人材紹介事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引の消去の額であります。

3. セグメント利益又は損失は、連結財務諸表の売上総利益と調整を行っております。

4. アウトソーシング事業に係るのれん(7,808千円)を除き、資産・負債は、事業セグメントに配分していないため、記載していません。

4. 報告セグメントのセグメント利益又は損失の金額の合計額と連結財務諸表の営業利益との差異の調整  
(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	2,930,073	3,420,496
その他	20,915	△1,870
合計	2,950,988	3,418,625
調整額	△25,398	△26,443
連結財務諸表の売上総利益	2,925,590	3,392,182
販売費及び一般管理費	2,395,768	2,637,376
連結財務諸表の営業利益	529,822	754,805

【関連情報】

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の10%に満たないため、主要な顧客ごとの情報の記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

全社資産において、土地の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、36,560千円であります。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

(単位：千円)

	ソリュー ション	アウトソ ーシング	プロダク ト	計	その他	合計	調整額	連結財務諸表計上額
当期償却費	—	4,074	—	4,074	—	4,074	—	4,074
当期末残高	—	11,882	—	11,882	—	11,882	—	11,882

当連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位：千円)

	ソリュー ション	アウトソ ーシング	プロダク ト	計	その他	合計	調整額	連結財務諸表計上額
当期償却費	—	4,074	—	4,074	—	4,074	—	4,074
当期末残高	—	7,808	—	7,808	—	7,808	—	7,808

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
1株当たり純資産	196.38円	239.45円
1株当たり当期純利益	35.19円	44.82円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	34.07円	43.44円

- (注) 1. 当社は、2019年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合、2020年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。
2. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、当社株式が2018年8月2日に東京証券取引所マザーズへ上場したため、新規上場日から前連結会計年度末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
3. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	345,284	450,096
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	345,284	450,096
普通株式の期中平均株式数(株)	9,810,988	10,041,202
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	322,857	319,688
(うち新株予約権(株))	(322,857)	(319,688)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。